

第8回常陸大宮市近郊中学校軟式野球大会

開催日：4月28日・29日・5月5日
主 催：一般財団法人常陸大宮市体育協会
会 場：大宮運動公園市民球場他
参加校：31校

優 勝 常陸大宮市立大宮中学校
準優勝 常陸太田市立瑞竜中学校
第3位 常陸大宮市立第二中学校
那珂市立第一中学校



▲優勝した常陸大宮市立大宮中学校の皆さん

第8回常陸大宮市近郊中学校バレーボール大会

開催日：5月3日・4日
主 催：一般財団法人常陸大宮市体育協会
会 場：西部総合公園体育館・緒川中学校体育館
参加校：24校

優 勝 常陸大宮市立緒川中学校
準優勝 常陸太田市立峰山中学校
第3位 常陸大宮市立大宮中学校
常陸太田市立南中学校



▲優勝した常陸大宮市立緒川中学校の皆さん

健康通信

常陸大宮済生会病院
内科・消化器科部長
中塚 俊博先生

胃や大腸のポリープについて

■ 胃ポリープとは、胃の粘膜上皮に局所的に隆起した病変です。最も多いのは過形成性ポリープで、他に胃底腺ポリープ、腺腫などがあります。症状は一般に無症状です。胃もたれや不快感、食欲不振などの症状がみられることがありますが、多くは同時に発症している慢性胃炎によるものです。過形成性ポリープの場合は、出血により貧血を起こすことがあります。

過形成性ポリープは、小さなものなら放置可能で年1回程度の経過観察でよいと思われます。貧血の原因になっている場合や、胃の出入り口に大きなポリープがあり通過障害がある場合は切除を検討します。胃底腺ポリープは一般的に放置してよいといわれています。腺腫の小さなものは、半年～1年に1回の検査で経過観察します。大きなものや、がんとの識別がはっきりしないものは、内視鏡的治療により粘膜の切除を検討します。

■ 大腸ポリープとは、大腸粘膜に隆起した病変です。大きく腫瘍性、非腫瘍性に分けられます。非腫瘍性の中には、過誤腫性、炎症性、過形成性ポリープがあります。大腸の場合、最も多いのが腺腫で、次が過形成性ポリープです。数ミリ程度の小さなポリープではほとんど症状はありません。5ミリ未満のものはがんの頻度はわずかで、大きくなるにつれ、がんの割合が増えていきます。そのため5ミリ未満の大腸ポリープは経過観察とし、5ミリ以上の大腸ポリープのみを処置するのが一般的です。



特に大腸のポリープは数年の期間を経て大きくなっていく場合が多く、早期発見でがんを切除できたり、予防できたりする可能性があります。小さなポリープのみの方は2～3年に1回、ポリープを切除された方はその組織の検査の結果に応じて数カ月後に再検査されるとよいと思われます。大切なことは内視鏡検査をして、自分はポリープがしやすい体質なのか確認することです。また、50歳を過ぎたら一度は検査されることをお勧めします。